

J-STAGE

J-STAGEニュース NEWS

No.9

2004年2月1日発行

科学技術振興機構

J-STAGE 新リリースについて ~公開システム新機能~

J-STAGE News No.8でご案内しましたとおり、2003年11月19日に編集システムを、2004年1月21日に投稿審査システムおよび公開システムの新機能をリリースいたしました。編集システムは参加学協会様がJ-STAGEにジャーナルや予稿集を公開するために必要な目次や書誌情報、引用文献情報を登録するシステムです。新しい編集システムでは編集ツールと呼ばれるソフトウェアを作業用PCにインストールしていただくことで、従来のWEB方式と比較してより効率的に編集・制作作業が行えるようになりました。

公開システムではMy J-STAGE、早期公開、VirtualJournal、全文HTMLサポートなどの機能がリリースされました。

[My J-STAGE]

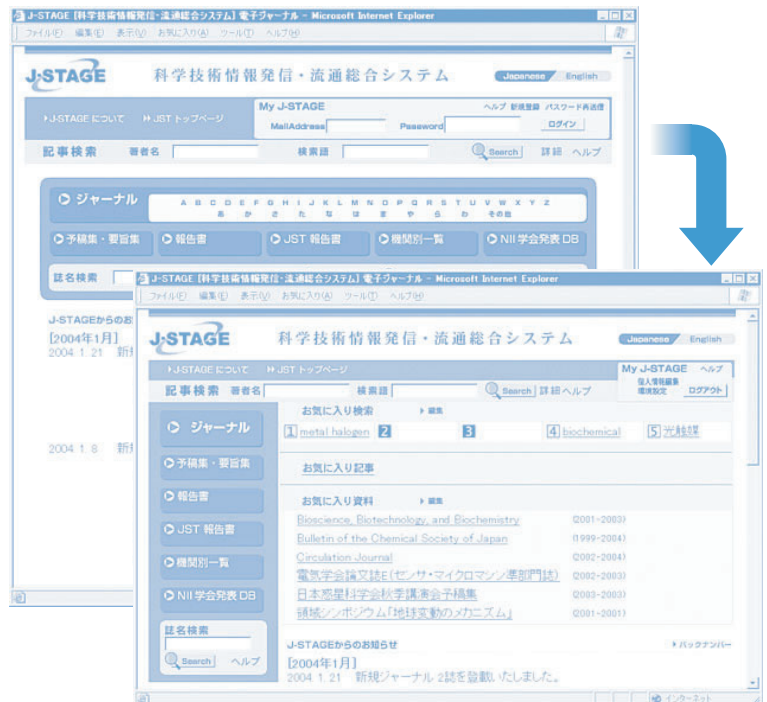
My J-STAGEは閲覧者がよく見る雑誌や記事、よく実行する検索条件などを保存する機能や、記事が追加された際にメールで知らせるアラート機能があります。

J-STAGEトップページにMy J-STAGEへログインするためのエリアを用意しました。資料トップページにはログインのためのリンクが用意されています。

J-STAGEトップページからログインしますと、黄色の枠で囲われたMy J-STAGE画面を中心とした画面構成に変わります。検索や記事、資料をお気に入りとして登録しますとリンクが追加されます。

My J-STAGEはJ-STAGEトップページにあります「新規登録」よりメールアドレスを登録することでどなたでもご利用いただけます。

詳しくはMy J-STAGE画面に用意しておりますヘルプをご参照ください。



My J-STAGE 画面

メールアドレスやパスワード変更
画面設定の変更が可能です。

[My J-STAGE](#) [ヘルプ](#)
[個人情報開示](#) [環境設定](#) [ログアウト](#)

お気に入り検索 ▶ 編集

1 metal halogen 2 3 4 biochemical 5 光触媒

お気に入り記事

お気に入り資料 ▶ 編集

Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	©2001-2003
Bulletin of the Chemical Society of Japan	(1999-2004)
Circulation Journal	©2002-2004
電気学会論文誌E(センサ・マイクロマシン部門誌)	©2002-2003
日本惑星科学会秋季講演会予稿集	©2003-2003
領域シンポジウム「地球変動のメカニズム」	©2001-2001

「お気に入り検索」

検索式を5つまで保管可能です

「お気に入り記事」

登録記事の一覧へリンクします

「お気に入り資料」

登録したジャーナル・予稿集・
報告書の一覧を表示します

[早期公開]

これまでJ-STAGEでの記事の公開は巻・号・開始ページなどの書誌事項を確定しておく必要がありました。今回のリリースにより、未確定な書誌事項を持つ記事でもJ-STAGEで公開することが可能となります。雑誌が発行される前の記事です。巻・号一覧のページには早期公開用の目次ページへのリンクを用意します。現在利用を検討している学協会様と公開に向けた準備を行っております。

[VirtualJournal]

VirtualJournalとはJ-STAGE上の別々の雑誌の論文を再編集し、新しいジャーナルとして公開することができる機能です。たとえば、J-STAGEでは誌名変更があると別々のジャーナルとして扱うことになるのですが、VirtualJournalを利用すればひとつのジャーナルとして公開することも可能です。VirtualJournalは独自の目次を持ちますが、抄録や本文はそれぞれのジャーナルのものを利用します。今後利用を検討している学協会様と公開に向けた準備を行います。

[全文HTMLサポート]

全文HTMLをサポートすることで高精細画像や、動画、音声などこれまでPDFや紙媒体では表現できなかった論文の提供が可能となります。現在利用を検討している学協会様と公開に向けた準備を行っております。

[その他]

ジャーナルや予稿集などの資料一覧画面が変わり、各資料の先頭にアイコンがつくようになりました。「Free」アイコンは資料に購読者認証がかかっているかどうかを知らせます。また、「New」アイコンはJ-STAGEに新しく掲載された資料につきます。早期公開を実施している資料には早期公開用のアイコンがつくようになります。

J-STAGE 新リリースについて ～投稿審査システム～

投稿審査システムは初回投稿から査読・審査を経て最終投稿までの各工程を支援するシステムです。

投稿・受付機能を使って著者が論文をWebの画面に従って投稿すると論文はJ-STAGEのサーバに保存されます。投稿論文のファイル形式は学協会（雑誌）毎に指定して頂きます。投稿をするとシステムが自動的に仮受付を行い、その後編集部にて本受付を行います。

編集・審査支援機能では投稿論文に対する担当編集者や査読者の割り当て、査読結果や審査結果の入力を行います。担当編集者や査読者は投稿された論文を参照することが可能です。査読の依頼などはシステムからの電子メールを通じて行われます。

工程管理機能により編集者と投稿者は、投稿論文がどの工程にあるかといった進捗状況を確認することができます。

J-STAGEで管理されているデータについては、学会で管理しているデータとの連携がとれるように、データのアップロード・ダウンロードができるようになっています。

基本的な機能は下表のとおりです。投稿審査システムは投稿部分だけの利用も可能です。

機 能	内 容	作 業 者	
投稿・受付機能	投稿	投稿票の入力、原稿ファイルの送付	投稿者
	受付	投稿の受付	事務局
編集・審査支援機能	査読	論文の査読、査読票の記入	査読者
	審査	査読結果に基づき審査。投稿者へ結果の通知	編集委員会
	最終投稿	修正原稿ファイルの送付	投稿者
工程管理機能	工程管理	各論文がどのステータスにあるのかを管理	

投稿審査システムの利用により

- ・ 投稿から公開までのスピードアップが図れる
- ・ 郵送に代わり電子投稿になり、海外からの投稿者にはメリットが大きい
- ・ 海外からの投稿の増加が期待できる

等のメリットが享受できますが、次の理由により導入には十分な検討が必要です。

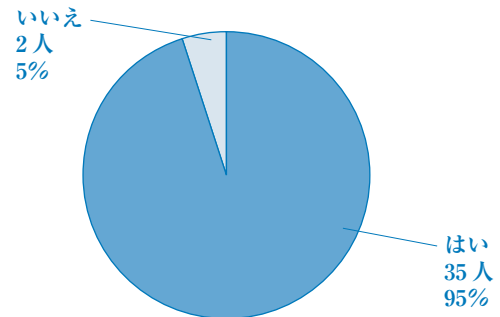
- ・ 導入初期は事務局作業の負担が増加する
- ・ 安易な投稿の増加が考えられる
- ・ 電子投稿に起因するトラブルもあり、インターネット環境、電子データに対する十分な知識が必要になる

電子投稿へ完全に移行するまでは従来の運用と二重作業になり運用に対する負荷が増大することになります。安易な導入を行うことは運用の混乱を招くことになります。体制含めて運用の手順と運用フローを十分検討した上で導入されることをお勧めします。

J-STAGE リニューアルに伴う利用者アンケート結果

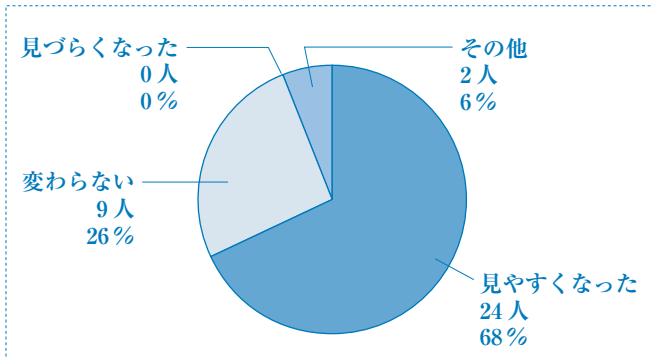
2003年9月24日にJ-STAGEの新しい公開画面がリリースされ、いくつかの新機能が利用できるようになりました。これを機にJ-STAGEを利用されている関係機関の方々にアンケートを採らせて頂きました。その結果をご報告致します。10/29～11/7の期間に37名の方からご回答頂きました。

Q 1. リニューアル後のJ-STAGEをご覧頂けましたか…

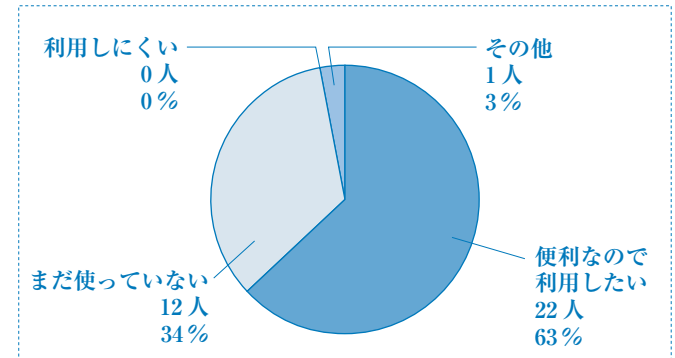


<以下の質問は「はい」と回答された方のみ対象です。>

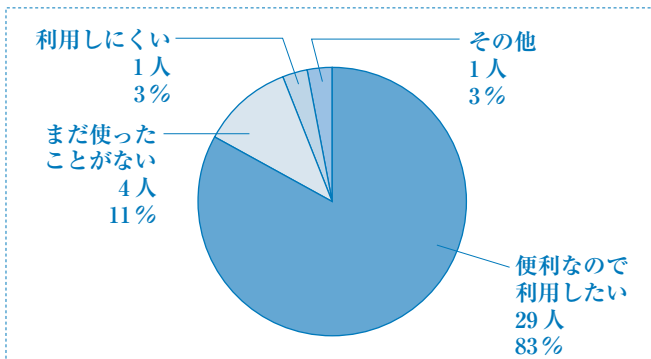
Q 2. 全体のデザインは以前のものより…



Q 3. 資料横断検索機能は…



Q 4. 資料トップページからの検索機能は…



Q5. その他J-STAGEにあったらいいと思う機能や改善要望など

様々なご意見を頂きました。NII-DBとの統合を希望される方やもっと広報すべきというようなご意見や、J-STAGEの画面の改善案なども頂きました。掲載まで時間がかかる点についての改善要望などもありました。これらのご意見に対してはJST内部で検討し皆様へのサービス向上を図っていきたいと考えております。ご協力、誠にありがとうございました。

学会利用規約変更のお知らせ

2003年11月27日にJ-STAGEの利用規約が改定されました。J-STAGE説明会にてご説明しておりますが、今回の改定の主なポイントは以下の5つです。

- ・ JSTの独立行政法人化に伴う文言修正
- ・ 暗黙のルールを明文化……J-STAGEを利用される場合はコンテンツの登載が前提であることを明記しました
- ・ 著作権等関係の記述の明確化……J-STAGEに登載することで学協会様からJSTに著作権が譲渡されることはない旨明記しております
- ・ 守秘義務関係の記述の明確化……対象を明記し、より具体的な記述に改めました
- ・ 利用規約変更時の通知方法……前規約にはなかった項目です。新規約では、変更の1ヶ月前に電子メールで通知すると規定致しました

上記の通り、改定後もJ-STAGEの運用方針はこれまでと何ら変わるものではありません。

改定後の利用規約は次のサイトにてご覧頂けます。 <http://info.jstage.jst.go.jp/contents/info/policy/riyou.html>

J-STAGE 掲載記事が CrossRef の 1000 万件目の DOI に

CrossRef (<http://www.crossref.org/>) のプレス発表によると、CrossRefが2001年より付与してきましたDOI (Digital Object Identifier: デジタル識別子) が2004年1月19日に1000万件を越え、その1000万件目のDOIはJ-STAGE掲載の記事に割り当てられたとのことです。その記事は日本衛生学会の記事 (<http://dx.doi.org/10.1265/ehpm.8.184>) でした。

J-STAGEではこれからもCrossRefとの連携により、国内学術論文誌の海外への流通促進とシームレスな論文閲覧環境を提供していきます。J-STAGEに公開中のジャーナルで英文抄録まで作成されている場合はCrossRefへ参加可能です。年会費やデポジット費用はJ-STAGEが負担しており、現在公開中の125誌のうち40誌がCrossRefに参加しています。また、公開準備中のジャーナルでもJSTへの申し込みは受け付けております。CrossRefへの参加を希望される学協会様はJ-STAGE担当者 (contact@jstage.jst.go.jp) までご連絡ください。

DATABASE 2003 TOKYO/ 図書館総合展で J-STAGE を出展

2003年10月29日(水)～31日(金)に東京国際フォーラムにて開催された『DATABASE 2003 TOKYO』と11月4日(火)～6日(木)に同じく東京国際フォーラムにて開催された『第5回図書館総合展』にJ-STAGEを出展いたしました。公開システムのリニューアル後ということもあり、多くの来場者に新しいJ-STAGEを紹介することができました。図書館総合展ではJOISやPubMedの検索結果からJ-STAGEの論文へのリンクやJ-STAGEの論文の引用文献からPubMedの抄録ページへのリンク機能などを実演しました。JSTならびにJ-STAGEブースへお越しの皆様、ありがとうございました。

お詫びと訂正：J-STAGE News 8号の記事中に誤りがありました。*1ページ「2003年度CrossRef会議に参加しました」の記事中、『8,700万件以上のメタデータ』とあるのは『870万件以上のメタデータ』の誤りでした。また、同じ記事で『Membership Agreementの改定』とあるのは『Membership Agreementの改定』の誤りでした。*3ページ「J-STAGE引用文献からChemPortへのリンクを開始しました」の記事中、『「JCLボタン」をクリック』とあるのは『「JLCボタン」をクリック』の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

■ 編集後記 ■

- ♪ 新システムが公開されました。今後はこれをよりうまく使っていただけるよう努め、また新たな機能拡張も行っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願致します。(わ)
- ♪ J-STAGEをより魅力ある電子ジャーナルサイトとするためにはリンク機能の充実が欠かせません。今後もリンク提携先を順次増やしていき、より多くの方々にアクセスしていただけるよう努力いたします。(う)

★ J-STAGE および J-STAGE ニュースに関するご意見・ご質問をお待ちしております。

JST 知的資産集積部 電子ジャーナル部門 (contact@jstage.jst.go.jp)

J-STAGEニュース No.9 2004年2月1日

J-STAGE

<http://www.jstage.jst.go.jp>

編集 独立行政法人 科学技術振興機構
知的資産集積部 電子ジャーナル部門
発行人 知的資産集積部長 曾根 由紀子
住所 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ
電話 03-5214-8455 (ダイヤルイン)
E-MAIL contact@jstage.jst.go.jp